

【鹿野地区公民館】

事業名 安心安全なまちづくり

目的 近年の地球温暖化の影響もあるのか火山の爆発、集中豪雨や地震の多発と高率の巨大地震発生予測を含め、いつ、どこでどんな災害が発生するかわからない状況です。住民の災害に対する意識の向上、避難訓練等災害に対する備え、安全確保対策は急務となっている事から実施することを目的としています。



事業概要 平成 25 年災害対策基本法の一部改正により、高齢者や障がい者等の防災施策において特に配慮を要する方のうち、災害時に自身で避難することが困難な方の名簿（避難行動要支援者名簿）の作成と対応が市町村に義務づけられ、鳥取市も市内全域で取り組む事となりました。わが地区公民館も自主防災会の一層の活性化と合わせて取り組む事として、全 21 自治会で制度に対する説明会を総合支所と一緒に開催し、理解と協力をお願いしました。そして全世帯員を対象とした地区公民館独自の支援者名簿の作成依頼を行い、自主防災会長には全集落住民数と要支援者の状況の把握をお願いしました。また、災害時には自治会として高齢者や障がい者に関わらず一致協力し避難を行い、ひとりも人的被害が出ないよう取り組む活動をお願いしています。



工夫した点 取り組みにあたり、要支援者名簿の作成のみでは支援が十分機能しないこと、消防等の公的支援のみに頼らず各自主防災会を中心とした集落皆で助け合うことの重要性、必要性を強調しながら説明を行いました。また、公民館独自の名簿様式の作成にあたっては全世帯からの名簿提出をお願いし、個人情報部分を少なく、世帯数や世帯員の把握を一番として作成することとしています。

所見 鳥取市が作成する避難行動要支援者登録台帳と公民館独自支援者名簿のどちらも、個人情報が含まれており、管理や取扱いを慎重にする徹底が重要です。